

新鮮な学習機会を提供

平成10年度推進協総会終わる

5月16日

さる五月一六日(土)、設立以来4年目を迎える江別市生涯学習推進協議会の総会が市民会館で行われました。

八二の会員団体の中から選出された三〇名の代議員のうち二八名が出席し活発な議論が交わされました。議長には和地研策氏（江別市シルバー

人材センター）が選出され、9年度事業及び決算報告、業務及び会計監査報告、10年度事業計画及び予算、会費徴収について審議を行い、いずれも原案どおり承認、決定されました。

今年度事業の基本方針は、これまで積み重ねた実績を踏

まえ、全市民の生涯学習を支援するため、新鮮で有益な学習機会の提供や情報の発信など内容の充実に努めることです。来賓の小川市長も「市民ならではの発想で、江別の学習活動を大いに活性化させてほしい」と協議会に大きな期待を寄せておりました。

なお、会費徴収については本紙3面に詳細記事を掲載しましたので、ご一読ください。



会費徴収問題で活発な議論が交わされました。円内は安宅会長。

参画へのエンパワーメント

男女共同参画講座開催

女性の社会参加は進んでいるとはいえ、性別による差別は社会のあらゆる場で依然としてみられます。一方、少子高齢化社会の到来や、国際化、情報化の進展、経済的動向の変動、人々の価値観やライフスタイルの多様化など、私たちの社会は大きな転換期を迎えています。

こうした社会環境の変化に対応するため、平成8年、政府は『男女共同参画社会』の実現を目指した新たな国内行

動計画「男女共同参画2000年プラン」を策定しています。しかし、残念ながら私たちが生活している現実の社会では、家庭、地域、企業、社会、ありとあらゆるところにジェンダー（社会的・文化的に形成された性差）関係が張りめぐらされているのが実情です。市教委では昨年の「女性学入門講座」に続き「男女共同参画講座」を開催し、豊

かな社会なのかを四回のカ



社会の主流に参画するにはなにが必要なのか？

リキュラムで学習しました。ジェンダー、性別役割分担意識、エンパワーメント、などなど女性をめぐる問題には新しい概念が導入されているため、聞き慣れない言葉もたくさん出てきましたが、受講者四〇名は回を重ねることに質問が多くなり、講座への関心の高さがうかがえました。これからの社会は「個」を認め合う社会であり、その「個」の半分の女性が自立し、そのパワーをどう社会に生かしていくかが大きなカギとなります。

〈期間〉6月3日～25日
〈会場〉野幌公民館
〈講師〉広瀬玲子・相内真子・伊藤明美・斯波憲子の四氏

寄稿 日々楽しむ私の生涯学習



伊藤 祐輔さん

生涯学習に長続きのコツはあるのでしょうか。また、年齢的に晩くなってからはじめてもモノになるのでしょうか。

協会の行事や勉強会には顔を出すようにしています。

なぜなら、そこには仕事の合間に最近の映画や小説を話題に、二〇年、三〇年前の青年や娘さんにかえって話に熱中したり冗談を言い合う仲間がたくさんいるからです。

現在、私は江別市民国際交流協会の会員として通訳・翻訳部で広報紙編集のお手伝いをしています。会員になって一年半ばかりですが英会話は

サッパリ

学びのコツ

で、先輩会員（私よりもずっと若い）のアドバイスを受けながらもっぱら翻訳や裏方の仕事をしています。

少しは英会話の力をつけようと週一回夜のクラスに参加していますが、恥ずかしながら他の人たちがドツと笑っても「どうして笑ったんだろう」という段階です。それでも、できるだけ

幸い私はこのような仲間恵まれ、マイペースで参加させていただいています。が、六一才という高年齢の私にとっては、この仲間と

気の張らない雰囲気があるかぎり、長く続けられると思っています。

長続きのコツは仲間がいること、それから「自分のレベルはこの程度しかありませんが、よろしく」という謙虚な気持ち、これさえあれば何事も楽しく続けられることうけあいです。

（江別市民国際交流協会会員）



ホールに響く、さわやかな歌声（5月 蒼樹大学開講式）

早起きの季節

我が家では、土曜日曜は朝寝坊の日になっているが、五月前半から一〇月中頃までは早起きになっている。

この時期になると、陸上大会や記録会、マラソン大会が花ざかりとなるからである。自分は好きでやっていることなので苦にならないが、家族には起きな

くても良い、といっても、やはりそうもいかないよ

近所の方が「おはなしなあには誰でも行けるよ」と教えてくれた

のです。初めて行ったとき、楽しさとともに誰でも気軽に受け入れてくれる暖かさを感



鈴木 紀子さん

私と「おはなしなあに」との出会いには五年前にさかのぼります。引越してきたばかりで二人の子どもを抱えた私に

うで、見送ってくれている。

自分としては、多趣味といっ

てよいのか浅く広く何にでも挑戦した。中でも碁は今でも好きで子供達が遊びに来ると



渡辺 登さん

友人からダンスを誘われたがあまり好きではなく、料理でも習おうかと友人を誘い、エプロン、三角布まで用意しても

らったがこれも実現せず。男性でもどうぞといってくれた

前で呼ばれること、これは子育て中の夢といってもいいかもしれない。実際、「鈴木さん」と呼ばれたときのうれしさは、今でもはつきりと覚えて

ています。そして五年、子育ての悩みをメンバーの

お母さんの成長

子育て先輩にアドバイスしてもらったり、他のメンバーに刺激をもらったり、この会

は生活の中でとても大きな部分を占めています。そして、何より毎週にこに

（おはなしなあに会員）

江別市菊友会

松坂 政志(事務局長)

江別の菊づくりの歴史は、大正六〜七年の頃より始まり昭和の初期に現在の王子製紙の前身である富士製紙の人達により盛んになり、現在に引き継がれたとのことです。

当会は、昭和二六年に菊友会として発足し、本年で四八年目を迎えます。昭和二九年の第一回文化祭から菊花展を通じ市民の皆様の目を楽しませてまいりました。

また、市においても昭和四六年に市の木「ナナカマド」とも

てまいりましたが、受講者の中から多数の方が菊友会に入会し活躍されており、市民の皆様は講習会を通しての菊づくりのお手伝いをと会の総力をあげて、資材の斡旋、

菊苗の提供なども行ってきましたが、近年は最後まで受講される方が少なくなり、本年は講習会も中止となり、非常に残念でなりません。

日頃の会員研修の場として会員宅を持ち回りとして五回ほど研修会を行い、11月の展示会にむかって頑張っていると



やがて咲く花を想うと顔もほころぶ

市の花ご存じですか？

この間、昭和五五年に江別市文化協会より江別市民芸術文化奨励賞、平成七年に江別市民芸術文化功労賞を団体として受賞しております。会員数は九〇名を超える時もありましたが現在は三〇名となり

この間、昭和五五年に江別市文化協会より江別市民芸術文化奨励賞、平成七年に江別市民芸術文化功労賞を団体として受賞しております。会員数は九〇名を超える時もありましたが現在は三〇名となり

皆さんも絢爛な大菊を咲かせてみませんか。へお問い合わせ先>野幌町54-9セザール野幌206松坂宅

昭和四九年から野幌公民館との共催にて、市の花「菊作り講習会」を4月から9月まで、挿し芽要領から開花管理まで実地も含めて五回開催し

この間、昭和五五年に江別市文化協会より江別市民芸術文化奨励賞、平成七年に江別市民芸術文化功労賞を団体として受賞しております。会員数は九〇名を超える時もありましたが現在は三〇名となり

皆さんも絢爛な大菊を咲かせてみませんか。へお問い合わせ先>野幌町54-9セザール野幌206松坂宅

自主財源 新たな一歩

11年度から会費徴収します

推進協

会員のみなさまには既にご案内のとおり、去る5月16日開催の総会で会費徴収についてが議題となり、熱心な協議の結果、次のとおり決定しました。

・会費は、団体、個人会員を問わず2千円とし、11年度から徴収する。
・会費の納入方法、納入期限などの取扱については別に定める。

・会費問題については、平成7年3月の本会設立以来の懸案事項として理事で組織する組織運営検討部会、総務委員会において会員の意向も重視しようとしてアンケートを実施するなどして慎重に論議してきました。

その結果、現在、当会は市の補助金だけで運営しているわけであり、やはり市民主体で、市民の立場に立った生涯学習を推進していこうという会の設立趣旨、目的に鑑み自主財源としての会費の徴収は不可欠との結論に達し、総会へ提案するに至りました。



多くの市民に学ぶ機会を提供します

・会費問題については、平成7年3月の本会設立以来の懸案事項として理事で組織する組織運営検討部会、総務委員会において会員の意向も重視しようとしてアンケートを実施するなどして慎重に論議してきました。

なお、徴収は11年4月からですが、具体的な納入方法などについては、追ってご連絡します。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

〈物岳流静樹会〉

詩吟はむずかしいと思われていますが、楽器伴奏をつけての指導ですので初めての方もすぐ覚えられます。声を出すことはストレス解消、健康維持に最適です。また、各大会等への参加の楽しみも広がります。練習は月曜夜の部と火曜午後の部で野幌町財田宅、費用は月1,500円です。詳細は財田さん(383-0463)まで、お気軽にどうぞ。

◆ 役員会

◆ 会員の変更がありましたのでお知らせします。

・清池会(代表加賀正孝氏) → 江別書人集団(代表同)

◆ 理事の交代がありましたのでお知らせします。

・江別市スポーツ振興財団 山田義弘氏 → 輪島博明氏

・江別市シルバー人材センター 藤井 實氏 → 和地研策氏

◆ 編集部では、「ら・ら・ら」への寄稿をお待ちしています。会員団体のメンバー募集や行事のPR、また個人の「私の生涯学習」など大歓迎です。事務局(高砂町24・381-1062)までご一報ください。

私の宝物

かけがえない時
遠藤裕子

私には宝物がたくさんある。

幼い頃は、今考えれば愚にもつかないものが、大切な宝物であったときもあった。例えば、公園でみつけたためずらしい形の石であったり、どこにでも売っているような何の変哲もない文房具だったり…。



りと存在していることを考えると、これらガラクタ宝物もまんざらでもないと思えてくる。普段は忘れ去られている過去の宝物達は、ある時、ふと

にすると、その瞬間、何の変哲もない過去の遺物が、当時の数々の思い出を時も忘れてしまおうほど次々と蘇らせてくれる。いま、二〇才を過ぎた私

思い出したように私の前に現われる。

それは、別の用事でたまたま訪れたガラクタ置場に足を踏み入れたとき、ひとつまたひとつと出てくる宝物達を手

その時代に関わりあった人々との交流が、私の心を育んでくれたことに感謝する心が、大人になる私の形のな

い宝物となるだろう。(友愛病院勤務)

市民文化の風となれ

生涯学習フェスティバルえべつ

協議会の目玉事業である生涯学習フェスティバル。多くの市民に楽しく愉快に、学ぶことの大切さ、喜びを体験してもらおうと開催しているものです。これまで、市内で活躍している団体の協力を得ながら毎年ひとつのテーマに注目し、様々な催しを企画してきました。

テーマは「えべつ・再発見」です。

江別にまつわる人物として作詞家坪松一郎を主人公として歴史を旅するストーリーであった「風のまちのエチュード」。舞台稽古に汗を流すなかから学んだこと、あるいはその舞台を觀賞することにより感じたことは、まちの歴史にとどまらず、たいへん多かつたことでしょう。

えべつ再発見

昨年度は3月に市民参加による舞台公演「風のまちのエチュード」と市民公募展「街なみ&街角おもしろ写真展」の二つの催しを行いました。

異文化との出会い

今年のテーマは「えべつ'98・異文化との出会い」です。市内の文化活動は施設などの整備もあいまって、年々盛んになる傾向にあり、今後ともこの傾向は強まるものと思

編集後記

初夏の陽気に誘われ、早歩きして石狩へ釣りに出かけました。が、釣果はさっぱり。手のひらより小さなカレイが一匹、申し訳なきさうにくっ

ついてきただけ。様子を見かねたのか隣の見知らずの名人が投げ方からコーチしてくれ、帰り際に大きなカレイを二匹くれました。国際交流の伊藤さんのいうとおり、謙虚な姿勢は大切ですね。



坪松一郎を熱演(劇団「川」春日功さん)

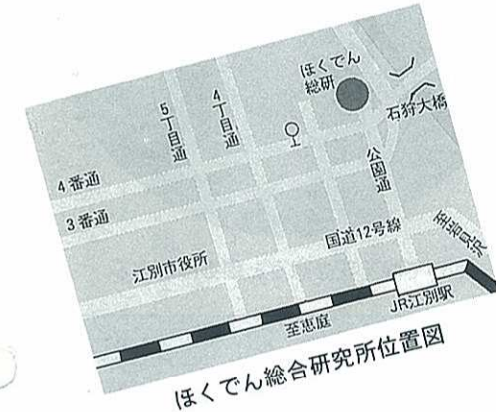
市内学習ポイント⑨



ほくでん総合研究所

ほくでん総合研究所は、これまで札幌市豊平区に位置していましたが、研究開発領域の拡大により手狭となったことなどから、「四季のみち」の終点にあたる江別発電所跡地に新研究所を建設し、平成8年6月から研究開発を行っています。

ご理解していただくため研究所見学者の受け入れを実施しており、チョウザメの増養殖技術、融雪技術、生活・環境関連技術など研究成果の一端を紹介しております。見学は無料ですが、事前の申し込みが必要ですよ。



ほくでん総合研究所位置図

◇連絡先：北海道電力(株)総合研究所研究業務グループ TEL 3851-6553 / 対雁2-1